

中学生の「税についての作文」優秀作品

『十日町税務署管内税務関係団体連絡協議会 会長賞』

税で成り立つ日常

十日町市立 中条中学校 3年

水 落 沙 歩

税金は私たちの生活にかかせないものである。でも税といっても、消費税、所得税、法人税くらいしか初めはわからなかった。税について知る前まではなぜ税を納めないといけないのかずっと疑問を抱いていた。しかし、集められた税金は私たちの生活をよりよくするために使われていることを知り、その役割の大きさとありがたさを実感できた。

税金を納めることにより実際私たちの生活はどうなっているのだろう。私が普段から通っている学校や道路、医療施設など日常生活で利用するさまざまな公共サービスの提供に税は使用される。これらの施設やサービスの維持や改善は税を納めることにより可能である。さらに税金は社会的な公正を確保するためにも使用される。所得税や法人税などの個人や企業からの課税によって富の再分配が行われ、貧困層や社会的弱者への支援や福祉施設の充実が図られる。他にも国や地方自治体の橋、空港などの社会インフラの維持や税収による国家の予算が形成され公共支出や債務返済、国防が行われる国家の経済維持へと繋がるのです。税金を納めることは社会的な責任として求められる行為であり、国や地方自治体の発展や社会の繁栄に貢献することになる。

税金を納めることで、顔も名前も知らない誰かの助けになるかもしれない。何かちいさな幸せを見つけることができるかもしれない。税金は私たちの未来をつくりあげていくなくてはならない大切なものである。今こういった整った環境で生活ができているのは、今でも日本中の人々が納税を続けているからだ。世界では学校に行き勉強したくてもできない、おいしいご飯を食べたくても食べれない、きれいな水を飲みたいくても飲めないような人たちが沢山いる。その人たちに比べてこういった当たり前ではないことが当たり前だと感じられる環境にいる私はとても贅沢だ。

税金があるからこそ、私たちは安心して日常生活を送ることができる。不安がなく気持ちのよい環境をつくるためには税金という存在はとても大きい。税金を納めることは他人事ではない。国民一人一人が税の大切さを知り税について考え、税と向き合っていく必要がある。私もこれから税金を納める機会が多くなる。税金によって支えられた日常をさらによりよいものとなるように、互いに支え合うどこかの誰かのために自分にできることを精一杯頑張ろうと思う。